



本部・健康栄養学部棟(エントランス)

本部・健康栄養学部棟は池キャンパスの窓口として、また、大学の本部機能を備えた中心施設としての役割を果たしている。



共用棟

共用棟はキャンパスの中心に位置し、大講義室や学生食堂、図書館等があり、学生の憩いの場として、学部を越えた交流が行われている。



共用棟前広場(愛の天使像)

広場のシンボルである愛の天使像は1999年に同窓会しらさぎ会からキャンパス開設記念として贈呈された。



カフェテリア(共用棟1階)

温かな日差しを受け、いつも大勢の学生でにぎわう憩いの場になっている。



図書館(共用棟1階)

池キャンパス3学部にかかる専門書を中心におよそ10万冊の図書を収蔵。



体育館

体育の授業や、室内競技等のサークル活動の拠点となっている体育館。災害時には避難場所として利用される。



学生会館

学生活動の拠点として、部室、ミーティングスペース、宿泊スペースを備えている。



看護福祉棟

実習室、講義室を備え、看護・社会福祉学部の授業等に使用されている。



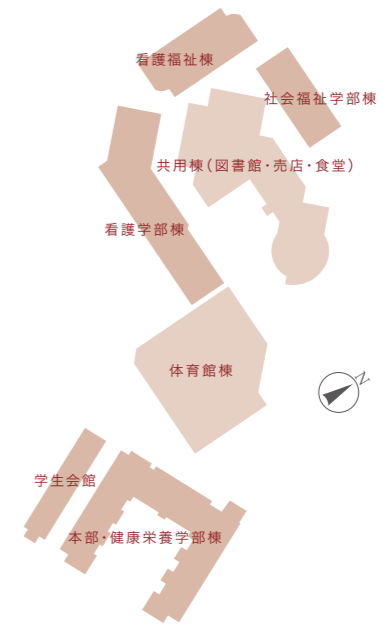
さくら寮(国際寮) 2017年3月完成

日本人と外国人の学生が共同生活を通じて互いの文化や習慣の違いなどを理解・尊重し、相互の交流を深める場となる学生寮。

池キャンパス

Ike Campus

高知市郊外に位置する池キャンパスは、1998年に誕生。自然に囲まれ学業に専念できる環境の中、3学部(看護・社会福祉・健康栄養)がそれぞれの棟を中心に教育・研究活動を行っている。2017年3月には、グラウンド南側に国際寮「さくら寮」が完成する。



池キャンパス(左)と高知医療センター(右)



本部・健康栄養学部棟外観



看護学部棟外観



社会福祉学部棟外観



A101講義室(教育研究棟1階)

ガラス張りの開放的な空間と最新設備を備え、学生の講義はもちろん、学会、講演会、公開講座などさまざまな催しを通して、県民の学びの場としての機能を果たしている。



情報・語学演習室(教育研究棟2階)

2部屋ある演習室では、パソコンを計178台設置し、授業で使用していない時間帯は、自習用として利用が可能となっている。



事務室(教育研究棟3階)

2015年4月、本学と高知短期大学を運営する高知県立大学法人、高知工科大学を運営する公立大学法人高知工科大学の二つの法人が合併し、1法人3大学となって新たなスタートを切った。法人本部、3大学の事務職員が1フロアの中で日々業務に当たっている。



プレゼンテーションコート(教育研究棟4階)

通常は学生の自習や交流の場として活用。机の配置を変更することによりプレゼンテーションの場へ変更することができる。



コミュニケーションコア(教育研究棟5階)

学生と教員、または学生同士の活発な交流の場として利用されている。



地域連携棟外観

地域連携棟3階には地域教育研究センターを設置している。高知工科大学地域連携機構、高知県産学官民連携センターと共に広く県民に向け、地域連携の窓口としての機能を果たしている。

永国寺 キャンパス

Eikokuji Campus

老朽化した校舎を新築・改修して再整備を行い、2015年に教育研究棟、地域連携棟が完成。高知県立大学と高知短期大学、高知工科大学の3大学の学生が同じキャンパスで学ぶ。また、2017年に、図書館、体育館・食堂が完成。2018年には、学生会館が完成予定で、「知の拠点」としての整備が進んでいる。



キャンパス全体外観イメージ図



改修前の永国寺キャンパス



建設スケジュール



教育研究棟外観



学生会館イメージ図



図書館イメージ図



体育館・食堂イメージ図